

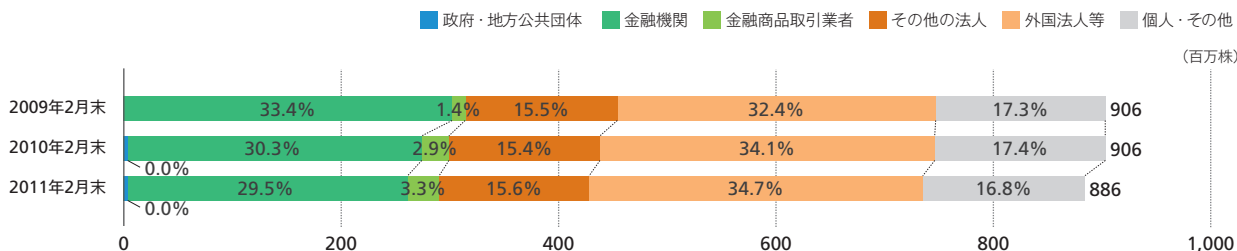
# 株式情報

## 大株主

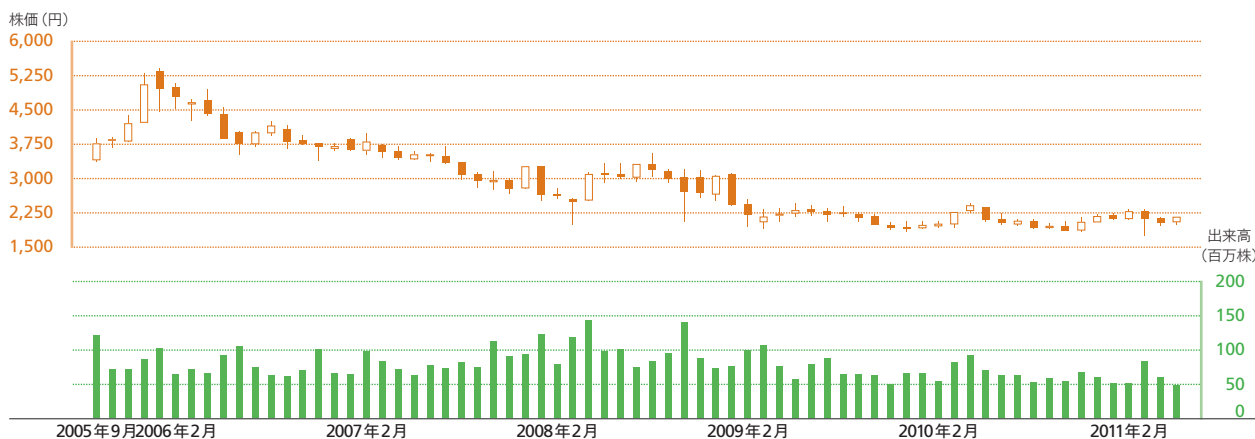
(2011年2月末現在)

	株式数 (千株)	出資比率
伊藤興業株式会社	68,901	7.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	38,877	4.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,313	4.2%
日本生命保険相互会社	20,664	2.3%
ドイチェバンクトラストカンパニーアメリカズ	17,006	1.9%
伊藤雅俊	16,801	1.9%
三井物産株式会社	16,222	1.8%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	15,121	1.7%
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	14,229	1.6%
第一生命保険株式会社	13,777	1.6%

## 所有者別株式分布状況



## 株価・出来高の推移(月足)



	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
株価						
始値	¥3,410	¥4,630	¥3,740	¥2,550	¥2,055	¥2,008
高値	¥5,420	¥4,950	¥3,760	¥3,550	¥2,465	¥2,468
安値	¥3,360	¥3,390	¥2,510	¥1,962	¥1,831	¥1,848
終値	¥4,780	¥3,800	¥2,630	¥2,195	¥2,004	¥2,277
出来高(千株)	518,891	937,170	1,029,289	1,194,651	840,559	771,407

## 投資指標(連結)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
期中平均株式数*	870,127,116	933,675,491	953,496,897	918,389,766	903,458,314	887,128,871
期末発行済株式数*	904,774,606	953,508,603	953,487,255	903,459,511	903,458,108	883,463,233
1株当たり当期純利益	¥100.83	¥142.90	¥137.03	¥100.54	¥49.67	¥126.21
1株当たりキャッシュ・フロー	¥213.46	¥285.02	¥287.68	¥253.56	¥196.03	¥275.48
1株当たり純資産	¥1,772.25	¥1,999.77	¥2,081.85	¥1,975.95	¥1,905.97	¥1,927.09
株価収益率(倍)	47.4	26.6	19.2	21.8	40.3	18.0
株価キャッシュ・フロー倍率(倍)	22.4	13.3	9.1	8.7	10.2	8.3
株価純資産倍率(倍)	2.7	1.9	1.3	1.1	1.1	1.2
1株当たり年間配当金	¥28.50	¥52.00	¥54.00	¥56.00	¥56.00	¥57.00
連結配当性向	-	36.4%	39.4%	55.7%	112.7%	45.2%
連結純資産配当率	-	2.8%	2.6%	2.8%	2.9%	3.0%

\* 自己株式を除く

# 会社概要

(2011年2月末現在)

プロフィール

商号：株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
 設立：2005年9月1日  
 本店所在地：東京都千代田区二番町8番地8  
 代表者：代表取締役会長 最高経営責任者(CEO) 鈴木 敏文  
 代表取締役社長 最高執行責任者(COO) 村田 紀敏  
 資本金：50,000百万円  
 従業員数：386名  
 50,765名(連結ベース)

業績概要

## 沿革

■ 資本政策・財務戦略 ■ 店舗展開・営業政策

セブン&アイHLDGS. 設立以前のあゆみ	
1958	4月：(株)ヨーカ堂を設立
1971	3月：ヨーカ堂を(株)イトーヨーカ堂に社名変更
1972	9月：イトーヨーカ堂、東証第二部へ上場
1973	3月：(株)ヨークベニマルと業務提携 7月：イトーヨーカ堂、東証第一部へ上場 11月：米国最大のコンビニエンスストアチェーンのサウスランド社とライセンス契約を締結し、(株)ヨークセブンを設立 11月：米国レストランチェーンのデニーズ社との提携に基づき、(株)デニーズジャパンを設立
1977	7月：イトーヨーカ堂、米国ナスダックへ米国預託証券(ADR)を登録
1978	1月：ヨークセブンを(株)セブン-イレブン・ジャパンに社名変更
1981	8月：セブン-イレブン・ジャパン、東証第一部へ上場
1984	8月：ヨークベニマル、東証第一部へ上場
1986	7月：イトーヨーカ堂のADRを米国ナスダック市場ナショナルマーケットシステムへ指定替え 8月：デニーズジャパン、東証第一部へ上場
1991	3月：イトーヨーカ堂とセブン-イレブン・ジャパンはIYGホールディングス社を設立し、サウスランド社へ資本参加、経営権を取得
1996	12月：成都イトーヨーカ堂有限公司を中国四川省成都市に設立
1997	9月：華糖ヨーカ堂有限公司を中国北京市に設立
1999	4月：サウスランド社を7-Eleven, Inc.に社名変更
2000	7月：7-Eleven, Inc.、米国ナスダックからニューヨーク証券取引所に再上場
2001	4月：(株)アイワイバンク銀行を設立 10月：(株)アイワイ・カード・サービスを設立
2003	5月：イトーヨーカ堂、米国ナスダックにおけるADRの登録を廃止
2004	1月：セブン-イレブン北京有限公司を中国北京市に設立 11月：王府井ヨーカ堂有限公司を中国北京市に設立

セブン&アイHLDGS. 設立からのあゆみ	
2005	9月：(株)セブン&アイ・ホールディングスを設立、東証第一部に上場 10月：アイワイバンク銀行を(株)セブン銀行に社名変更 11月：株式公開買い付けにより7-Eleven, Inc.を完全子会社化 長期的な収益向上及びセブン-イレブンのグローバル戦略の推進を目的に同社を完全子会社化 11月：セブン-イレブン・ジャパン、岐阜県に初出店 11月：『Ario(アリオ)札幌』、『Ario川口』グランドオープン
2006	2月：セブンアンドワイ(株)の子会社化 グループのIT事業の中核会社として同社の子会社化を実施 2月：セブン-イレブン・ジャパン、三重県に初出店 3月：『Ario亀有』グランドオープン 5月：『そごう 千葉店』全館リニューアルオープン 5月：国内のセブン-イレブンへ「第6次総合情報システム」の導入を開始 6月：株式交換により(株)ミレニアムリテイリングを完全子会社化 グループの百貨店事業の強化として、そごうと西武百貨店を子会社に持つ同社を完全子会社化 7月：自己株式427,509,908株を消却 イトーヨーカ堂が上場時に保有していたセブン-イレブン・ジャパン株式及びデニーズジャパン株式を消却 8月：7-Eleven, Inc.、White Hen Pantry, Inc.を買収 北米シカゴ地区で約200店舗のコンビニエンスストアを展開する同社を買収 9月：株式交換によりヨークベニマルを完全子会社化 関連会社だった同社を完全子会社化し、食品スーパー事業の中核会社に位置づけ 11月：『グループMD(マーチャンダイジング)改革プロジェクト』発足 12月：『Ario八尾』グランドオープン
2007	1月：(株)セブン&アイ・フードシステムズを設立 外食事業分野の統合・再編を目的に新会社を設立 3月：(株)ロフトを子会社化 全国で生活雑貨専門店を展開する同社をミレニアムリテイリングが子会社化 3月：セブン-イレブンが世界最大のチェーン店舗数に 3月：『西武百貨店 渋谷店』全館リニューアルオープン 4月：グループ独自の電子マネー『nanaco(ナナコ)』のサービス開始

世界の  
小売業データ

国内  
マーケット  
シェア

国内の  
小売環境

グループ  
事業戦略

主要事業  
会社の  
営業データ

会社データ

2007	
5月:	プライベートブランド商品『セブンプレミアム』の販売開始
7月:	(株)赤ちゃん本舗を子会社化 全国にベビー・子供洋品専門店を展開する同社をイトーヨーカ堂が子会社化
8月:	国内のセブン-イレブンで『セブンプレミアム』の販売開始
9月:	セブン&アイ・フードシステムズがデニース・ジャパン、ファミリー、ヨーク物産を吸収合併
9月:	『西武百貨店 所沢店』全館リニューアルオープン
9月:	華糖ヨーカ堂『右安門(ユアアンメン)店』オープン
10月:	『Ario西新井』グランドオープン
11月:	(株)藤越を子会社化 福島県で食品スーパーを展開する同社をヨークベニマルが子会社化
12月:	日本テレビ放送網(株)、電通との共同出資により(株)日テレ7(セブン)を設立 小売とメディアの融合を目指し、新たな事業戦略を展開することを目的に同社を設立
12月:	成都イトーヨーカ堂『錦華(ジンファ)店』オープン
12月:	デニースでの『nanaco』の利用開始

2008	
1月:	(株)セブン&アイ・フィナンシャル・グループを設立 銀行業を除くグループの金融関連事業を統括する目的で同社を設立
2月:	自己株式 11,329,000株を消却 2008年1月にセブン-イレブン・ジャパンより取得した自己株式全株を消却
2月:	セブン銀行がジャスダック証券取引所に上場
3月:	イトーヨーカドーでの『nanaco』の利用開始
3月:	『Ario鳳』グランドオープン
4月:	セブン-イレブン中国有限公司を設立 エリアライセンスによる中国でのセブン-イレブン店舗展開の推進を目的に設立
4月:	国内のセブン-イレブン全店舗で『QUICPay(クイックペイ)』の利用開始
6月:	『nanaco』へのクレジットチャージサービスを開始
7月:	1,000億円の無担保社債(第1回・第2回・第3回)を発行
7月:	(株)セブン&アイ・ネットメディアを設立 IT関連事業の更なる強化を目指し、同事業を統括する目的で同社を設立
7月:	自己株式 50,000,000株を消却 市場買付により取得した自己株式全株を消却
7月:	インターネットショッピングサイト『セブン-イレブンネット』のサービス開始
8月:	(株)アインファーマシーズと業務・資本提携 店舗出店、医薬販売及び商品開発における連携を目的に業務・資本提携
8月:	農業生産法人(株)セブンファーム富里を設立
8月:	"生活応援型"ディスカウントストア1号店『ザ・プライス西新井店』オープン
11月:	NSC(近隣型商業施設)店舗『イトーヨーカドー本牧』オープン
11月:	イトーヨーカドーによる初の自社開発ホームセンター『セブンホームセンター金町店』オープン

2009	
1月:	(株)セブンカルチャーネットワークを設立 文化教室事業と旅行事業を融合した新しいビジネスの展開を目的に同社を設立
1月:	セブン-イレブン・ジャパン、富山県と福井県に初出店
2月:	セブン-イレブン・ジャパン、島根県に初出店
2月:	『セブンプレミアム』が2008年日経優秀製品・サービス賞の『最優秀賞日本経済新聞賞』を受賞
3月:	日本電気(株)との共同出資により(株)セブンインターネットラボを設立 NECとの協業によるIT技術の研究とシステム開発を目的に同社を設立
3月:	『イトーヨーカドー武蔵小金井店』オープン
4月:	中国上海市内にてエリアライセンスによるセブン-イレブン店舗展開を開始
6月:	アインファーマシーズとの共同出資により(株)セブンヘルスケアを設立 医薬品販売分野のマーケット変化に対応した新たなビジネスモデルの構築を目的に同社を設立
7月:	セブン&アイ・レストラン(北京)、中国北京に初出店
8月:	ミレニアムリテイリング、そごう、西武百貨店の3社が合併し、存続会社であるそごうの商号を(株)そごう・西武に変更
8月:	グループによる初の自社開発ドラッグストア『セブン美(び)のガーデン』オープン
9月:	そごう・西武がロビンソン百貨店を吸収合併
9月:	セブン-イレブン北京、中国天津に初出店
9月:	華糖ヨーカ堂『北苑(パイエン)店』オープン
10月:	国内のセブン-イレブン全店舗で『Edy(エディ)』の利用開始
11月:	セブン-イレブン・ジャパン、鉄道駅構内に初出店
11月:	プライベートブランド商品の世界展開第1弾としてワインを日米同時販売
11月:	成都イトーヨーカ堂『建設路店』オープン
12月:	7-Eleven, Inc., New England Pantry, Inc.を買収 北米ボストン地区で58店舗のコンビニエンスストアを展開する同社を買収
12月:	(株)びあと業務・資本提携 各種チケット、イベント関連及び会員ビジネスにおける連携を目的に業務・資本提携
12月:	セブン-イレブン・ジャパン、石川県に初出店
12月:	セブンアンドワイを(株)セブンネットショッピングに社名変更
12月:	グループのネット通販『セブンネットショッピング』のサービス開始

2010	
1月:	華糖ヨーカ堂『十里堡(ジュウリホ)店』をスクラップ&ビルドによりオープン
1月:	セブン銀行による個人向けローンサービスを開始
3月:	タワーレコード(株)へ資本参加 エンタテインメント及びIT・ネット分野における連携を目的に資本参加
3月:	『nanaco』発行件数 1,000万枚を突破
6月:	自己株式 20,000,000株を消却 市場買付により取得した自己株式全株を消却
6月:	1,100億円の無担保社債(第4回・第5回・第6回)を発行

2010	6月:	(株)セブン&アイ・アセットマネジメントを設立 西武池袋本店の信託受益権(固定資産)の取得・保有を目的に同社を設立
	6月:	『Ario北砂』グランドオープン
	6月:	国内のセブン-イレブン全店で、『アイワイカード』・『JCBカード』のクレジットカード決済サービスを開始
	7月:	(株)セブンファームを設立 各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備等の一元管理を目的に同社を設立
	9月:	(株)クレディセゾンとの包括的業務提携契約の締結 そごう・西武がクレディセゾンとの間で行っている提携カード事業の合併会社化及び今後のカード事業の成長を目的に業務提携
	9月:	セブン&アイ・アセットマネジメントが西武池袋本店の土地建物等(1,230億円)を取得
	9月:	『セブンプレミアム』のワンランク上の品質を実現した『セブンゴールド』を発売
	9月:	『Ario橋本』グランドオープン
	9月:	セブン-イレブン全店で『Visa』・『マスターカード』・『アメリカン・エクスプレス』・『ダイナースクラブ』の4ブランドのクレジットカード決済サービスを開始
	10月:	アイワイ・カード・サービスを(株)セブン・カードサービスに社名変更
	10月:	都市型小型スーパーマーケット『イトーヨーカドー 食品館阿佐谷店』オープン
	11月:	セブン-イレブン・ジャパン、『複数店経営奨励制度』内容を拡充 複数店全店を対象にセブン-イレブンチャージから売上総利益の3%に相当する金額を減額する新制度を導入
	11月:	セブン-イレブン・ジャパン、北海道キヨスク(株)と業務提携 北海道キヨスクが道内の主要駅に展開しているコンビニエンスストア等をセブン-イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
	11月:	セブン-イレブン・ジャパンの店頭マルチコピー機においてチケットぴあの販売開始
	11月:	『イトーヨーカドー曳舟店』グランドオープン
11月:	『イトーヨーカドー食品館小豆沢店』グランドオープン	
12月:	セブン-イレブン成都有限公司を設立 中国四川省成都市でのセブン-イレブン店舗展開を目的に設立	
12月:	『Ario深谷』グランドオープン	
2011	3月:	セブン&アイ・フィナンシャル・グループ、(株)SEキャピタルおよび(株)セブン・キャッシュワークスの3社が合併し、存続会社である(株)SEキャピタルの商号を(株)セブン・フィナンシャルサービスに変更
	3月:	セブン-イレブン・ジャパンが日本における『セブン-イレブン』の商標権を取得 7-Eleven, Inc. が保有する『セブン-イレブン』ブランドの商標権のうち、日本における商標権を取得
	3月:	7-Eleven, Inc. における店舗取得 Exxon Mobil Corporationが米国フロリダ州に展開するコンビニエンスストア等183物件を取得

2011	3月:	7-Eleven, Inc. における店舗取得 Illinois State Toll Highway Authorityが米国イリノイ州の有料高速道路のサービスエリア内で展開するコンビニエンスストア等13カ所を取得
	3月:	セブン-イレブン・ジャパン、鹿児島県に初出店
	3月:	セブン-イレブン・ジャパン全店舗で交通系電子マネーが利用可能に
	3月:	中国四川省成都にてセブン-イレブン店舗展開を開始
	4月:	(株)セブンCSカードサービスを子会社化 セブン・カードサービスと連携し、クレジットカードや電子マネー、共通ポイントサービスを複合的に提供することを目的に同社を子会社化
	4月:	『イトーヨーカドーあべの店』グランドオープン
4月:	『Ario上田』グランドオープン	
6月:	7-Eleven, Inc.、WFI Group, Inc. を買収 米国ニューヨーク州に188店舗のコンビニエンスストアを展開するWilson Farms, Inc. の親会社であるWFI Group, Inc. を買収	
6月:	グループ横断の『セブン&アイ ポイントサービス』を開始 グループ各社発行のクレジットカードの利用で、優遇ポイントを付与するサービスを拡大	